

《教養科目》

科目名	くらしと法律（日本国憲法）				
担当者氏名	菅野 仁紀				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能 4-4 態度・志向性			

《授業の概要》

憲法は、近代立憲主義（人権保障および権力分立）の考え方に立脚します。本講義は、憲法の統治機構（国会・内閣・裁判所等の組織と権限等）に関する基本事項および基本的人権の保障（人権総論・精神的自由権・経済的自由権等）を扱います。

日本国憲法で保障されている人権とは何か、国の政治が実際にどのように行われているのか等について、学説と重要判例、さらに近時の事件・問題等を通して学習します。

《授業の到達目標》

（１）憲法とは何か、日本国憲法とは何かを把握し、その仕組みと基本原理の理解を深め、説明できること。

（２）実際の社会問題や身近な事例を法学的かつ憲法学的な視点で考えるための心構えや知識を身につけ、それらの問題や事例に関連づけ、適用できること。

（３）これらを通して、自立・自律した市民としての批判的思考力を身につけること。

《成績評価の方法》

期末筆記試験（60%）、小テスト（20%）、レポート（20%）とし、総合的に評価します。60点以上を合格とします。

なお、欠席回数が授業を実施した回数の3分の1を超えた場合には、成績評価の対象としません。

《テキスト》

テキストは特に指定しません。授業時にレジュメを配布します。

《参考図書》

芦部信喜〔高橋和之補訂〕『憲法〔第7版〕』（岩波書店・2019）

斎藤一久・堀口悟郎編『図録 日本国憲法』（弘文堂・2018）

上田健介・尾形健・片桐直人『憲法判例50！〔第2版〕』（有斐閣・2020）

《授業時間外学習》

（１）憲法や法律に関わるニュースや身近な事例を常に意識しておくこと。（２）各授業に参加するにあたり、授業計画の学習内容欄に記載した内容を中心に、学習テーマや自分の興味関心のある問題について、参考書等を使用してまとめること（2時間程度）。（３）授業後は、レジュメを中心に学説・判例等の要旨・論点を授業ノートにまとめること（2時間程度）。

《課題に対するフィードバック等》

小テストやレポートの講評は適宜示します。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	ガイダンス 法とは何か	法・法律とは何か 「日常生活における法、法と道徳の関係、法の仕組みを考える。」
2	憲法とは何か	近代立憲主義について 「近代立憲主義と社会契約論、憲法の目的について考える。」
3	統治機構（１）	権力分立、国会・内閣について 「権力分立の意味と国会・内閣の役割について確認する。」
4	統治機構（２）	裁判所と違憲立法審査権について 「裁判所の役割と違憲立法審査権の特徴・機能について確認する。」
5	国民主権と天皇制	国民主権と象徴天皇制について 「主権について考える。また、現在の天皇制はどのような制度かを確認する。」
6	平和主義	平和主義と戦争放棄について 「憲法9条の意義について考える。また、憲法9条をめぐる議論を確認する。」
7	基本的人権の原理	基本的人権の内容とその限界について 「人権とは何かをその歴史的経緯から考える。」
8	包括的基本権	幸福追求権について 「新しい人権とはどのような権利なのか、具体的な事例を通して考える。」
9	法の下での平等	憲法における平等の意味について 「許される区別と許されない差別について、判例を通して考える。」
10	人身の自由	適正手続の保障について 「法律の定める手続とはどのような手続なのかを考える。」
11	精神的自由権（１）	思想・良心の自由について 「考える自由の意義について考える。」
12	精神的自由権（２）	信教の自由と政教分離について 「国家と宗教との関わりについて、判例を通して考える。」
13	精神的自由権（３）	表現の自由について 「表現の自由はなぜ優越的な地位を占めるのかについて、判例を通して考える。」
14	経済的自由権	職業選択の自由について 「消極目的規制と積極目的規制について、2つの判例をもとに考える。」
15	社会権・総括	生存権について・学習の振り返り 「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利の意義を考える。」

《教養科目》

科目名	情報処理				
担当者氏名	中平 浩介				
授業方法	実習	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能				

《授業の概要》

ICT(Information & Communication Technology)社会の到来を受け、情報処理技術が職場や日常生活の中に広く普及しておりその修得が期待されている。そこで、この科目では、1年次に学修した内容を基に、Excelについての技術を修得する。更に情報倫理、Word、PowerPointについての知識を習得する

《テキスト》

繰り返しで慣れる！完全マスターExcel Office365 Office2019対応 noa出版

《参考図書》

Office基礎と情報モラル noa出版
情報倫理ハンドブック noa出版

《授業の到達目標》

Excelの操作ができる
Wordの操作ができる
PowerPointの操作ができる
情報倫理について説明できる
1分あたり 40～50字程度の文字入力ができる

《授業時間外学習》

時間内に終わらない課題については、次の授業までに終了させておくこと
毎回の授業について、予習、復習（概ね1時間）の自己学習が必要である

《成績評価の方法》

小テスト(40%)、実技試験(30%)、課題提出(30%)に授業態度等を加味し総合的に評価して60%以上を合格とする

《課題に対するフィードバック等》

提出された課題については、講評などでフィードバックする

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	コンピュータシステムの概要、タイピング	コンピュータシステムの利用方法、学生サーバー、ネットワーク、個人用フォルダ、パスワードの扱い、タイピング、Office2013、情報倫理ハンドブック
2	情報倫理、タイピング、画像の扱い、文書作成	情報リテラシー、情報セキュリティ、インターネット、タイピング、著作権、画像処理 準備学修：情報倫理ハンドブックに目を通しておくこと
3	Excelの起動（1）	Excelの4大機能、Excelのスタート画面、Excelの画面構成 準備学修：Step1 Lesson1(1) - (6)を読んでおくこと
4	Excelの起動（2）	ブックの新規作成、リボンについて、ブックとシート、ブックの管理 準備学修：Step1 Lesson1(7) - (9)を読んでおくこと
5	文字や数値の入力（1）	作業対象セルの指定、ジャンプ、データの入力、訂正、削除 準備学修：Step1 Lesson2(1) - (3)を読んでおくこと
6	文字や数値の入力（2）	移動と複写、挿入・削除・クリア 準備学修：Step1 Lesson2(4) - (5)を読んでおくこと
7	表の作成（1）	表示形式の設定、フォントの設定、配置の変更、罫線 準備学修：Step2 Lesson1(1) - (4)を読んでおくこと
8	表の作成（2）	行と列幅の変更、列の非表示と再表示、形式を選択して貼り付け、ページ設定 準備学修：Step2 Lesson1(5) - (7), Lesson2(1) - (4)を読んでおくこと
9	計算（1）	ビジネスで使われる計算式、数式の入力、数式のコピー、相対参照と絶対参照 準備学修：Step2 Lesson3(1) - (4)を読んでおくこと
10	計算（2）	SUM関数、統計関数、数学ノ三角関数、論理関数、日付ノ時刻関数、文字列関数 準備学修：Step2 Lesson3(5) - (10)を読んでおくこと
11	さまざまな書式	スタイル、条件付き書式、入力規則、コメント、メモ、検索と置換、リンク 準備学修：Step2 Lesson4(1) - (7)を読んでおくこと
12	Excelのグラフ	棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ、レーダーチャート、複合グラフ 準備学修：Step3 Lesson 1 - 2を読んでおくこと
13	データの分析（1）	企業等の実データを使ったデータ分析、データベース機能、テーブルの管理 準備学修：Step4 Lesson1(1) - (5)を読んでおくこと
14	データの分析（2）	企業等の実データを使ったデータ分析、オートフィルタ、ウィンドウの分割と固定 準備学修：Step4 Lesson 2 - 3を読んでおくこと
15	プレゼンテーション（効果）	画面切り替え効果、アニメーション効果 準備学修：1年次テキスト Section4のStep2 Lesson2を読んでおくこと

《教養科目》

科目名	情報社会と経営				
担当者氏名	大野 満奈				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 4-4 態度・志向性				

《授業の概要》

ITの発展と相まって、多種多様な新型金融商品の登場、企業間競争の激化、および基幹産業の規制緩和等を背景として、経営環境が著しく変化を遂げているなか、経営者は、不確実性のもと意思決定に有用な情報を、そして、企業外部の一般投資家は企業とのコミュニケーションに主体的に参加すべく財務情報のディスクロージャーを要求する。ここではそのような情報社会における経営の仕組みと現状を学ぶ。

《授業の到達目標》

情報と意思決定の関係についての理解を深め、社会の成員として活動するうえで必要とされる日本の経営に関する基礎的仕組みと用語を説明できる。

《成績評価の方法》

レポート(50%)、プレゼンテーション(50%)、総合評価60点以上を合格とする。

《テキスト》

授業中に配付するレジメをテキストとして使用する。

《参考図書》

三橋規宏他著「ゼミナル日本経済入門」日本経済新聞社
渡辺裕巨他編著「新検定簿記ワークブック 3級」中央出版社

《授業時間外学習》

講義のテーマに基づいた時事問題については特に注目し、日々の社会の動きを理解するように心掛けること。次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたレポートやプレゼンテーションにコメントしフィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	日本的経営の特徴	終身雇用、年功序列型賃金、労使関係、企業間の系列関係、 我国企業経営の現状 【時間外学習】日本的経営を下調べしておくこと
2	企業の資金調達	企業の資金調達の仕組み・他人資本・自己資本・資金の具体的運用形態 【時間外学習】企業の資金調達の仕組みを下調べしておくこと
3	高度情報通信社会と経営	インターネットの普及と社会変化・IT革命以降の企業の雇用形態 【時間外学習】IT革命を下調べしておくこと
4	ディスクロージャー制度	企業の情報開示とその手段・財務諸表の種類と見方 【時間外学習】財務諸表を下調べしておくこと
5	企業会計情報システム	複式簿記と会計情報システム・補助簿の作成 【時間外学習】複式簿記を下調べしておくこと
6	日本企業の歩み(1) 戦後～高度成長期	経済復興期、高度成長期 【時間外学習】経済復興期を下調べしておくこと
7	日本企業の歩み(2) バブル期を中心に	低成長期、バブル経済、長期不況、21世紀の企業経営 【時間外学習】バブル経済を下調べしておくこと
8	時事問題を考える	時事問題に関するプレゼンテーション・ディスカッション(グループ討議) 【時間外学習】時事問題に関するプレゼンテーションの原稿を作成しておくこと
9	*	*
10	*	*
11	*	*
12	*	*
13	*	*
14	*	*
15	*	*

《教養科目》

科目名	倫理学				
担当者氏名	浜田 郷史				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能 4-4 態度・志向性			

《授業の概要》

倫理学は、皆さんがよりよく生きるために役立つ哲学の実践部門です。よりよく生きるために、たとえば、なされた悪に対して報復せずゆるすべきか、転売行為は非難されるべきか、なぜ誰も見ていないところで道徳的に振る舞ったほうがよいのか、などを考えてみましょう。今期は、「正義」「人生」「仕事」「ケア」「悪」「共感」「不幸」などについて、講義と「哲学対話」を行います。

《授業の到達目標》

(1) 倫理学の基礎知識を説明できる。(2) 自分の倫理観を知り、他者の倫理観にも関心を向けることができる。(3) 倫理的葛藤に際して、根拠のある意志決定ができる。

《成績評価の方法》

全体で100%（総点100点）とし、「定期試験における筆記試験60%」、「授業への関心・意欲・態度40%」の割合で評価し、総合評価60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	「倫理学」とは何だろう？ 「哲学対話」のやり方を通じて、普遍化テストを学ぶ。[復習]倫理的な言葉づかいを意識しながら人と会話する。
2	不幸論・共感論	苦しみたくないが、苦しんでいる友には寄り添いたい。「不幸」と「共感」について考える。[予習/復習]不幸に対する考え方は変わるだろうか。
3	正義論・正義の分類	正義は必要か？ 「正義」の基本的な意味を分析し、身近な例に当てはめる。[復習]講師が提示する諸権利に対応する義務の正当性を述べる。
4	正義と共感	「正義」と「共感」の葛藤を知り、使いこなせるようにする。[復習]講師が提示するいくつかの倫理的ジレンマを解く。
5	悪の倫理学	「悪」と「ゆるし」についての哲学・文学をいくつか紹介したのち、究極的な悪について意見を交換する。[予習/復習]最大の悪とは何か？ 考え方は変わるだろうか。
6	ケアの倫理学	「ケア」について、倫理的に何が問題になっているのかを知り、配慮できるようにする。[復習]ケアを行う際の注意点についてまとめる。
7	買い物倫理学	倫理的に「よい仕事」像について、日常生活をもとに討議する。[予習/復習]「よい仕事」の条件を考え、まとめる。テスト対策。
8	いのちの倫理学/試験	これまでの学習成果をふまえて、私たちの「いのち」の繋がりについて考察する。後半は筆記試験。
9	-	-
10	-	-
11	-	-
12	-	-
13	-	-
14	-	-
15	-	-

《テキスト》

テキストは特に定めませんが、毎回プリントを配布する。

《参考図書》

平尾昌宏『ふだんづかいの倫理学』、晶文社、2019年。

《授業時間外学習》

授業後は配付資料等をもとに要点を復習しておく。対話の前には、テーマについて考えておくことが望ましい。

《課題に対するフィードバック等》

授業の最後に質問を受ける。次の授業で全体で解説してフィードバックする。

《教養科目》

科目名	地球と環境				
担当者氏名	落合 啓志				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能			

《授業の概要》

身近なところや日本、世界で起こっている環境問題と自分たちとの関係について、具体的な事例をもとにグループ討議や発表を通して学ぶ。

《テキスト》

なし

《参考図書》

なし、必要に応じて授業の中で紹介する。

《授業の到達目標》

主な環境問題の現状とその問題点および要因等について説明できる。

《授業時間外学習》

授業前に配布された資料は事前によく読んでおくこと。また、授業で配布されたプリントは復習を十分に行うこと。

《成績評価の方法》

筆記試験（20%）、毎回の授業のまとめのポートフォリオ作成提出（80%）を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたポートフォリオは内容を確認し、コメントを付してフィードバックします。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	アライグマから考える環境問題	アライグマは動物園だけにいるのでしょうか。アライグマ問題からいろいろなことが見えてきます。
2	パンダから考える環境問題	パンダは人気者ですが、パンダからいろいろなことが見えてきます。
3	レジ袋から考える環境問題	たかがレジ袋だが、されどレジ袋。レジ袋からいろいろなことが見えてきます。
4	地球温暖化から考える環境問題	いま話題の地球温暖化問題をいろいろな角度から考えてみましょう。いままで気づかなかったことが見えてきます。
5	太陽光発電から考える環境問題	エコといわれている太陽光発電や自然エネルギーからいろいろなことが見えてきます。
6	水から考える環境問題	蛇口をひねると当たり前のように出てくる水ですが、水からいろいろなことが見えてきます。
7	環境問題のこれまでとこれから	過去の環境問題を振り返り、これからの環境問題への取組方やSDGs実現に向けて必要なことを考えてみましょう。
8	埼玉県の問題環境問題&試験	埼玉県ならではの環境問題ってあるのでしょうか。第1回～第8回は、世の中の動きや受講者の学習状況によって一部変更もあります。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《教養科目》

科目名	英語				
担当者氏名	江川 澄男				
授業方法	演習	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

視聴覚機器を用いたアクティブ・ラーニングを行い

- 海外旅行英会話の向上：動画でのListening, Oral Drill
- 英語表現力の向上：Power PointでのChat, Q&A Practice
- Listening力の向上：動画によるStoryを踏まえたListening
- プレゼン能力の向上：Power Pointを用いたSkit作成、英作文や資料の作成、発表
- 英語力の向上：教師作成Textの内容確認, 音読, Shadowing

《授業の到達目標》

- 動画を用いた基本的な場面での表現練習を行い、海外での実践的な英会話力が高められる。
- 英会話に不可欠な理論・表現練習・実演を行い、Chat(お喋り)やDiscussion(議論)ができる。
- Power PointやInternetの翻訳機能を用いた英作や表現練習で、プレゼン能力が高められる。
- Textの理解・音読・Shadowingで、英語力が高められる。

《成績評価の方法》

- 英会話(20点) (2)言語機能による表現練習(10点)
- パワーポイントによる英作文(20点)
- 教師作成Textの音読(10点)
- 「表現力豊かな英会話(言語機能編)」の取組み(20点)
- 「表現力豊かな英会話(Drill編)」の取組み(20点)

《テキスト》

- 「教師作成のText」
- 「表現力豊かな英会話(言語機能編)」
- 「表現力豊かな英会話(Drill編)」

《参考図書》

- 「速読速聴・英単語Daily1500 ver.3」松本 茂 監修
- 「英検2級合格セミナー」旺文社 赤尾文夫

《授業時間外学習》

- 教師作成Textの内容を理解し、音源を何度も聴いて音読できるようにする。
- Internetの翻訳機能を有効的に活用し、正しい英文を書けるようにする。
- 日頃からPower PointやInternetの翻訳機能を活用し、正しい英文が作れるようにする。

《課題に対するフィードバック等》

授業中の英会話や音声練習は、必ず文字(プリント)で確認し、確かな英語力の向上を図る。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	英会話 Unit 1: Daily life	オリエンテーション、授業体験、英会話(自己紹介)、Quiz、Unit 1の音読(時間外学習)Unit 1の音読、Quiz作成
2	英会話 Unit 2: Self	英会話(Q&A Practice)、Power PointやInternet翻訳機能の活用(時間外学習)Unit 2の音読、Quiz作成
3	英会話 Unit 3: Travel	英会話(Q&A Practice)、Power PointやInternet翻訳機能の活用(時間外学習)Unit 3の音読、Power Point用いたQuiz作成
4	Skit Unit 4: Shopping	英会話(Q&A Practice)、Power Pointを用いたSkit作成、Text音読(時間外学習)Unit 4の理解、Power Point用いた Quiz作成
5	Skit Unit 5: Food/Cooking	英会話(海外旅行英会話)、Skitの発表、Unit 5のShadowing(時間外学習)Unit 5の音読、Power Point用いたSkit作成
6	Skit Unit 6: Sports	英会話(海外旅行英会話)、Skitの発表、Unit 6のShadowing(時間外学習)Unit 6の音読、Power Point用いたSkit作成
7	Presentation Unit 7: Health, Healing	英会話(海外旅行英会話)、Skitの発表、Unit 7のShadowing(時間外学習)Unit 7の音読、Power Point用いたSkit作成
8	Presentation Unit 8: Music/Art	英会話(Quiz+Q&A)、Presentation(自己紹介)、Unit 8のShadowingや意見交換(時間外学習)Unit 8の音読、Power Point用いた自己紹介の作成
9	Presentation Unit 9: Books	英会話(Chat+Q&A)、Presentation(家族紹介)、Unit 9のShadowingやQ&A(時間外学習)Unit 9の音読、Power Point用いた家族紹介の作成
10	Presentation Unit 9: Entertainment	英会話(英文日記+Q&A)、Presentation(人物紹介)、Unit 9のShadowingやQ&A(時間外学習)Unit 9の音読、Power Point用いた人物紹介の作成
11	Presentation Unit 10: Science	英会話(Story+Q&A)、Presentation(故郷紹介)、Unit 10の音読とShadowing(時間外学習)Unit 10の音読、Power Point用いた故郷紹介の作成
12	Presentation Unit 10: Science	英会話(News+Q&A)、Presentation(日本文化の紹介)、Unit 10のShadowing(時間外学習)Unit 10の音読、Presentation(日本文化)の準備
13	Discussion Unit 11: Social Act	英会話(News+Q&A)、Presentation(日本文化)、Unit 11の音読とShadowing(時間外学習)Unit 11の音読、Presentation(日本文化)の準備
14	Discussion Unit 11: Social Act	英会話(Discussion)、Presentation(日本文化)、Unit 11のShadowing(時間外学習)Unit 11の音読、Presentation(日本文化)の準備
15	Discussion 総復習	英会話(Discussion)、Textの内容確認(時間外学習) Textの総復習と疑問点の明確化